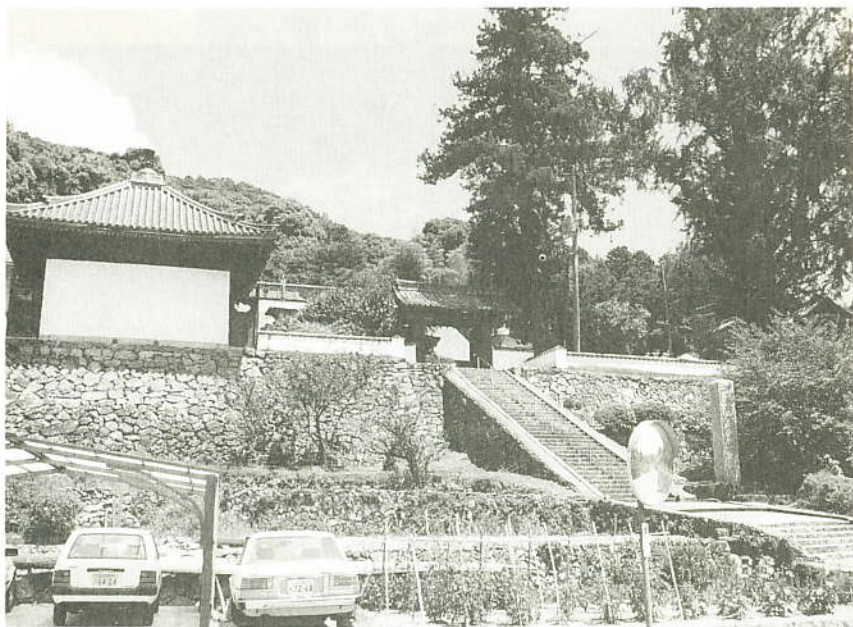


曹洞宗萬徳山興元寺

陶氏の家臣野上氏が滅んで、杉元相が代って野上の領主となり、天正2年（1574年）7月、元相は興元寺を菩提所として建立し、龍文寺十世海応和尚を中興とし、八世隆室和尚を開山とされた。

杉元相、元宣父子の墓が境内にあり、杉氏墓所の北側に杉の森神社がある。



曹洞宗金砂山福田寺

寛永元年（1624年）福田寺殿栄岩全富大居士（全富和尚）の開基といいます。その後火災により焼失し明暦4年（1658年）再建され、それまで観音寺と称せられていたが、福田寺と改められた。

当寺には、如意輪観音菩薩輪王坐像や仁王像があり、境内墓地には織部とうろう（キリシタンとうろう）一基がある。

